

機械器具 22 検眼用器具
一般医療機器 コントラスト感度測定装置 JMDN70092000
グレア内蔵型コントラスト感度測定器
CSV-1000HGTi

【形状・構造及び原理等】

1. 構成

(基本構成)

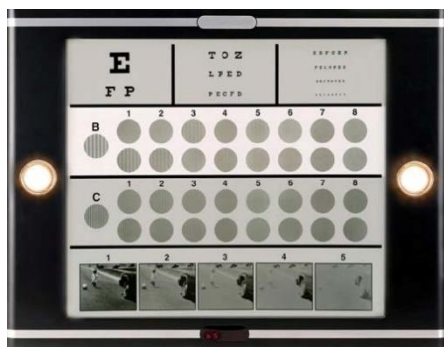
- 本体
- リモコン
- テストチャート
- 検査記録用紙
- 架台(オプション)

2. 電氣的定格及び機器の分類

定格電源電圧	:AC 100V
定格電源周波数	:50 / 60 Hz
電源入力	:100 VA
電撃に対する保護の形式による分類	:クラス I
電撃に対する保護の程度による装着部の分類	:B 形装着部

** 3. 形状、構造

**



寸法: 697(W) mm×100(D) mm×533(H) mm

質量: 約 13.6 kg

4. 動作原理

本体内部のフォトセルが内部の小型蛍光灯からの光と外部から入射する光の明るさを感じし、その明るさに応じて内部の小型蛍光灯の明るさが自動的に変化する。そのため、テストチャートを照らす光源の輝度は常に一定に保たれ、コントラスト感度を測定する条件が満たされる。

【使用目的又は効果】

本装置は、コントラスト感度の測定に用いる。

【使用方法等】

1. 検査前

- (1) 被験者の年齢に応じた検査記録用紙を準備する。
- (2) テストチャートを本体の前面に取り付ける。

2. 検査

- (1) 本体の電源スイッチを ON にする。
※グレアライトを使用する場合、リモコンのグレアライト用電源スイッチも ON にする。
- (2) 2.1m から 2.7m※の検査距離で、テストチャートの上段から検査を開始し、被験者の視認状態を確認する。
(※推奨検査距離 2.4m。但し、使用するテストチャートによって検査距離は変わる。推奨検査距離が 1m の特殊なテストチャートを使用する場合もある。)
- (3) リモコンの切り替えボタンにより、上段から下段へ呈示するテスト

チャートの段を変更する。

- (4) 検査結果を被験者の年齢にあった検査記録用紙に記録する。
 - (5) 本体の電源スイッチを OFF にする。
※グレアライトを使用した場合、グレアライト用電源スイッチも OFF にする。
 - (6) 次回の使用に支障がないように、ダストカバーをかける等、清潔な状態で保管する。
3. 使用方法に関連する使用上の注意
- (1) 非常に明るい照明や日光下では使用しないこと。

【使用上の注意】

本装置を使用する前に付属の取扱説明書を必ず読み、安全に関する注意事項及び使用方法について十分に理解すること。[添付文書及び取扱説明書の範囲外の使用により予期せぬ不具合・有害事象が発生する恐れがある。]

1. 検査に先立ち、被験者に対して検査の目的、方法について十分に説明すること。
2. 分解が必要な修理(グレアライトの交換、リモコンの電池交換は除く)や改造は行わないこと。
3. 輸送する場合は、購入時の梱包材に収納すること。
4. 携帯用および移動用 RF(高周波)通信機器が装置の周囲に持ち込まれない場所に設置すること。
5. 本装置の開口部や隙間等に物を入れたり、液体をこぼしたりしないこと。
6. グレアライトは非常に高温になるため、使用時又はライト消灯後 15 分以内は触れないこと。

【保管方法及び有効期間等】

1. 耐用期間

新規購入後 7 年(自己認証(当社データ)による)

【保守・点検に係る事項】

1. クリーニング

名称	作業者	頻度	方法
本体外装、テストチャート	使用者	適宜	市販の非研磨性クリーナーを柔らかい布にとり、払拭する。汚れ、ホコリ、油、グリース等が付着した場合はあらかじめ清潔な布で払拭する。

2. 業者による保守点検事項

弊社の定期点検を、1 年に 1 回受けること。
具体的な点検事項は、付属の取扱説明書を参照のこと。

****【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】**

* 製造販売業者: 株式会社ニコンソリューションズ

TEL:03-3773-8110

** 外国製造業者: Good-Lite Co.

アメリカ